



子供たちの素晴らしきたくましさ

校長 曾我 泉

子供たちの「計画力」に、感心させられます。
縦割り班活動では、それぞれの席に座ったままでも
楽しめるレクリエーションを工夫していました。
「運動に親しむ日」のスローガンを選ぶために、
代表委員会は動画を活用しました。



今までと違うことを生み出すことは、なかなか難しいことです。

やらないことにする方が、もしかしたら楽かもしれません。

今年度、教職員は悩みながら毎日を過ごしています。行事や様々な活動が、子供たちの大きな成長につながることを知っているので、今まで通りにできないことが苦しいのです。もちろん、それは、学校だけに限ったことではないでしょう。

いくら準備していても、突然休校になったように、直前でできなくなったら、子供たちへのダメージは計り知れないのではないかと、感染症対策をしながらなんて、本当にできるのだろうか…。そんな日々が続いています。残念ながらあきらめたことが、少なくないのはご承知のとおりです。

その中で、子供たちがたくましく考え、工夫し、新しいことを生み出し挑戦する姿をまぶしく見えています。

6年生の「運動に親しむ日」実行委員は、計画を学年のみんなに発表するときに、例年通りではないかもしれないけれど、こんな時だからこそ、「楽しくやろう」と呼びかけていました。これからの時代に求められている「予測困難な時代を多様な人と協同する中で、前向きに進んでいく」まさに、その姿をみました。西原小学校の子供たちが、家庭で、地域で、そして学校で鍛えられて成長していることを感じました。

今年度の運動会は、「運動に親しむ日」と名称を変えて、今までとは違う形で開催します。子供たちが、他の学年の頑張りを互に見合える場として、設定しました。「高学年のカッコよさ」を「中学年のいっしょうけんめいさ」を、「低学年の頑張り」をたくさん見つけ合えることを楽しみにしています。

9月末時点で、今年度、全校児童が一斉に集まる活動は一度も行っていない。本校の人数では、体育館に全員が集まることはできません。避難訓練も階段が狭く密になりやすいため、全員が避難行動をすることはままならない現状です。

もしかしたら、今年度、全員が一度に集まる機会は今回（運動に親しむ日）だけになるかもしれない。そんな思いをいただきながら、全員が一度に参加できる方法を模索しました。児童席を広めに確保したり、工事場所を避けて子供たちを移動・待機させたり、種目や内容を精選したりと工夫しながらの開催となります。

おうちの方や来賓、地域の皆様の声援が子供たちの大きな力になります。残念ながら直接ご参観いただくことはできませんが、子供たちの頑張りや、ぜひ応援していただきたくお願いいたします。

《新しいタブレット PC》

新しいタブレット PC の活用が始まっています。

タブレット PC の設定から始まりました。新しいタブレット PC を手にした子供たちの反応は、先生たちと同じ「小さい！」でした。画面が鮮やかになり、前のものに比べると「きれい」な印象のようです。



1年生のタブレット PC の設定は、6年生がお手伝いをしました。ユーザーID の入力、顔認証設定に続き、「カメラアプリ」などよく使うものを使いやすいようにデスクトップ上に設定してくれました。余裕があれば、一緒にお絵かきソフトを楽しみ、一年生が知らなかった機能を教えていました。ほかの学年でもよく使うアプリのアイコンを、画面に設定している様子が見られました。

5月から活用が始まったマイクロソフトの Teams は、ゲストアカウントから、一人一アカウントへ変更になりました。一部、制限はあるものの使える機能が増えました。徐々に使い道を広げていきます。

児童集会では、Teams を活用した「先生の（一人一筆）似顔絵」が並びました。



QR コードが読み込めるようになりました。QR コードリーダーをインストールすることにより、QR コードを読み込めるようになりました。今年度から、教科書やドリルなどの教材に QR コードがつき、学習に生かせるようになりました。適宜、利用できるようにしていきます。

今回のタブレット PC では、毎月、アップデートをすることになっています。アップデート予定日には、学校の保管庫にタブレット PC を入れておくことになっています。家庭での利用と教室内での利用では回線が違うので、学校で充電している状態であることが必要です。10月の西原小学校のアップデート予定日は、**10月13日、14日**です。**この日は、学校にタブレットを置いていきます。**



今回のタブレット PC は前のものより小さく、軽くなりました。

残念ながら、9月の中旬ごろ、「歩きタブレット」の報告が入ってきました。登下校中に、タブレット PC を使いながら歩いている子がいました。危険ですので、「歩きタブレットはしないこと」を各学級で指導しました。



《続く感染症対策 来校者編》

感染症対策を続けながら、少しずつゲストティーチャー等来校者の受け入れを始めました。

9月には、養護教諭体験、陸上スポーツティーチャー、教員の研修、教育委員会指導課訪問を受け入れました。これら来校者の皆さんは、継続的に健康観察を行い、記録をしている方々です。

令和3年度入学予定のお子さんがいらっしゃる保護者の方を対象とした、学校説明会を開催しました。この時の来校者の皆さんには、「入口のサーマルカメラによる体温測定と手指の消毒」、「受付にて来校者カードの記入」をお願いしました。何かの折には連絡が取れる形をとらせていただきました。

《素敵な作品に感激！ 夏休みの自由研究》

すてきな自由研究、自由課題の作品が各教室に並びました。

- ☆身近な素材や不思議な目を向けている
- ☆学習したことや今までの経験から発展的に考えている
- ☆新しいこと、初めてのことに挑戦している
- ☆夏休みならではの活動をしている
- ☆興味があることにじっくり取り組んでいる
- ☆丁寧に記録をしている
- ☆仮説・予想・計画等々を立ててから取り組んでいる
- ☆継続的に取り組んでいる
- ☆比較して考えている
- ☆新たな課題を見出している
- ☆表現方法が工夫されている



- ☆データを収集し、さらに調べている
- ☆科学的なデータを活用しようとしている
- ☆わかりやすくするための工夫がみられる

西原小校長賞「学年賞」		
6年		油の比重と吸い取りについての実験
5年		植物が育つにはどのような水が適しているか
4年		どろだらけのユニフォームを真っ白にする！洗濯日記
3年		すなにかくされたひみつ
2年		せみたちのぼうけん

ほかビューティフル賞、優秀賞、努力賞があります。

6年生の研究は、ニュースからテーマを広げ、油の比重や吸い取りについて実験で調べていました。環境問題にもつながる内容でした。

2～5年生の研究は、テーマに合わせた「比較」が工夫されていました。比較したこととの表現を統一することで、違いが分かりやすくなっていました。

おうちの方々の助言や協力のもと、見ていて、「そうだったのか」、「よく頑張ったな」と思う研究・作品が多くありました。

特に感心したのが、始めたきっかけです。低・中学年は、学習から興味をもったことと関連した内容が多くみられました。学校ではできないことへの取り組みが多かったのが、「夏休みならではの」です。高学年になると、自分の興味・関心が高い内容へときっかけが移ってきます。きっかけを説明する文章もおもしろい。高学年のころから、次第に趣味がはっきりしてくるのがここからも見られました。

「学び方を学び」生かす素晴らしい姿が、今後も継続することを楽しみにしています。

《引き取り訓練について》

今年度、10月31日（土）に予定していた「引き取り訓練」は、密を避けるために中止とし、校内で通常の避難訓練を行います。

実際に大きな地震が起きた場合や地震等の大きな災害に関する予報が出された場合には、「児童の引き取り」をお願いすることになります。

《児童個人面談について》

西原小学校では、毎年、担任と児童の1対1で面談を行います。児童の学習面や生活面での悩みや不安を聞き取ります。児童がよりよい学校生活を送ることができるように、今後の指導に生かしていきます。

《委員会・クラブ 少しずつ》

委員会活動やクラブ活動が少しずつ始まりました。どんなことができるか考えながら活動しています。

